

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月27日

計画の名称	海岸における防災・減災対策の強化と適切な管理の推進（防災・安全）（第2期）											
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	長崎県,長崎市											
計画の目標	本県は海岸線が長く、毎年のように台風等による被害を受けていることから、越波、高潮等による浸水被害を防止するため、海岸の防災対策を進め、自然災害に強い安全な海岸づくりに向けて着実な推進を図る。 また、今後増加が見込まれる海岸保全施設の老朽化に対応するため、計画的かつ効率的な老朽化対策を行い、適切な管理を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,983	A	6,983	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	高潮対策により、浸水被害軽減戸数を0戸（R2）から262戸（R3）にする。 高潮対策による海岸背後地の浸水被害軽減戸数	0戸	262戸	338戸
2	老朽化対策により、浸水被害軽減戸数を0戸（R2）から3戸（R3）にする。 老朽化対策による海岸背後地の浸水被害軽減戸数	0戸	0戸	81戸

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	長崎港海岸高潮対策事業	護岸(改良)L=1,100m	長崎市						518		-	
	A09-002	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	東望港海岸高潮対策事業	護岸(改良)L=160m	長崎市						300	16.99	-	
	A09-003	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	島原港海岸高潮対策事業	堤防L=50m 胸壁L=47m 護岸 L=8m	島原市						89		-	
	A09-004	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	小浜港海岸高潮対策事業	護岸(改良)L=100m	雲仙市						405		-	
	A09-005	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	七ツ釜港海岸高潮対策事業	護岸(改良)L=177m	西海市						10		-	
	A09-006	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	面高港海岸高潮対策事業	護岸(改良)L=951m	西海市						610		-	
	A09-007	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	福島港海岸高潮対策事業	護岸(消波)L=460m 護岸(改良)L=570m	松浦市						285		-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-008	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	高潮	港湾	玉ノ浦海岸高潮対策事業	護岸(改良)L=735m	五島市						720	-	
	A09-009	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	老朽化	港湾	海岸長寿命化計画(港湾海岸)(本土)	海岸長寿命化計画策定1式	長崎県沿岸(本土)						56	-	
	A09-010	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	港湾	海岸長寿命化計画(港湾海岸)(離島)	海岸長寿命化計画策定1式	長崎県沿岸(離島)						18	-	
	A09-011	海岸	一般	長崎市	間接	長崎市	高潮	水国	東望海岸 高潮対策事業	護岸(改良)L=630m	長崎市						250	-	
	A09-012	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	水国	形上海岸 高潮対策事業	護岸(改良)L=1,460m	長崎市						130	-	
	A09-013	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	水国	年崎海岸 高潮対策事業	離岸堤L=50m 護岸(改良)1式	長崎市						454	-	
	A09-014	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	高島海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	護岸(改良)L=360m	長崎市						200		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-015	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	亀浦海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	護岸(改良)L=510m	西海市						350		策定済
	A09-016	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	榎津海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	護岸(改良)L=200m	新上五島町						400		策定済
	A09-017	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	貝鮒海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	護岸(改良)L=618m	対馬市						300		策定済
	A09-018	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	濃部海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	護岸(改良)L=957m	対馬市						700		策定済
	A09-019	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	島山海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	護岸(改良)L=500m	対馬市						500		策定済
	A09-020	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	位ノ端海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	護岸(改良)L=195m	対馬市						300		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-021	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	海岸長寿命化計画(建設 海岸)(本土)	海岸長寿命化計画策定1式	長崎県沿岸(本 土)						23	-	
	A09-022	海岸	離島	長崎県	直接	長崎県	老朽化	水国	海岸長寿命化計画(建設 海岸)(離島)	海岸長寿命化計画策定1式	長崎県沿岸(離 島)						15	-	
	A09-023	海岸	一般	長崎県	直接	長崎県	高潮	水国	香焼西海岸 高潮対策事 業	離岸堤 L=100m	長崎市						350	30.38	-
												小計						6,983	
												合計						6,983	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 長崎県土木部にて、事後評価を実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 長崎県ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	海岸施設を整備することにより、越波・浸水被害の減少に寄与する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	今後も引き続き、海岸施設を整備することにより、自然災害に強い安全な海岸づくりに向けて着実な推進を図っていく。また、海岸保全施設の長寿命化計画に基づき、計画的かつ効率的な老朽化対策を図っていく。
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	高潮対策により、浸水被害軽減戸数を0戸（R2）から262戸（R3）にする。	
	最終目標値	338戸
	最終実績値	262戸
2	老朽化対策により、浸水被害軽減戸数を0戸（R2）から3戸（R3）にする。	
	最終目標値	81戸
	最終実績値	3戸